

HOPE plus

[市立芦屋病院だより]



事業管理者
新年あいさつ 平和を願う

市立芦屋病院 事業管理者 佐治文隆



新年おめでとうございます。

令和元年は米中貿易摩擦の激化、日韓の不協和音などアジアの隣国におけるトラブルが各国経済に落とす暗い影が懸念された年でした。わが国も目に見える不況とは言えないまでも、国内景気を支えてきたインバウンド需要の先行きが心配されます。昨秋、足かけ7年がかりで施行された消費税増税の影響はまだ不明ですが、内需が落ち込まないことを祈ります。目を遠くへ向けても、中東では戦火のキナ臭い匂いが漂っていますし、イギリスのブレグジット(EU離脱)問題も不安のタネです。世界各地の紛争が1日も早く収束し、政治的・経済的安定が人類の平和をもたらすことを強く望みます。

日本国内では高齢化と人口減少が目に見えて明らかになってきました。医療や介護を必要とする高齢者はしばらく増え続けますが、必要な医療者や介護者の不足は続き、充足は期待できない状態です。罰則まで設けた「働き方改革」に伴う労働時間制限は評価される一方で、医師や看護師不足にいっそうの拍車をかけそうで、病院運営に携わる立場としては苦慮いたします。昨年9月厚生労働省は、地域医療構想に基づき全国公的医療機関1455病院中、424病院(29.1%)に実名を挙げて再編統合などの検証を要請しました。兵庫県では15病院が対象となり、診療実績が「特に少ない」あるいは「類似かつ近接」していると指摘されています。さいわい当院は対象外でしたが、市立芦屋病院は救急医療やがん診療をはじめ地域に根ざした医療をこれまで以上に追求いたします。地域住民の倍旧のご支援を願う次第です。

昨年のラグビーW杯は日本国民に「にわかラクビーファン」を生み、大いに盛り上りました。かく言う私もその一人です。今年はオリンピック、パラリンピックです。スポーツを通して一致団結できるのは素晴らしいことです。何よりもフェアな精神、国際親善を身につける最高の機会だと信じます。



テンジクネズミ(モルモット)
天王寺動物園で友人が撮影

休日 がん検診 の開催

平日は仕事や家事で忙しい方のために、休日がん検診を開催いたします。

早期発見のため、是非この機会にご受診ください。

※検診無料クーポンを利用できますので、お持ちの方は必ずご持参ください。

日 時 2月2日(日)

午前9時～午前11時30分

場 所 市立芦屋病院 外来棟3階

申込み 下記まで(事前予約制)

問合せ 市立芦屋病院 医事課 検診担当

TEL 0797-31-2156(代表)

- 乳がん検診(エコー)39歳までの方(定員5名) 5,775 円
- 乳がん検診(マンモグラフィー)40歳以上の市民 2,000 円
- 子宮頸がん検診(問診・細胞診)20歳以上の市民 1,000 円
- 肺がん検診(CT撮影) 8,800 円
- 大腸がん検診(便潜血) 1,650 円
- 胃がんリスク評価(採血) 4,950 円
- 前立腺がん検診(採血) 6,875 円
- 肝炎ウィルス検診(採血) 3,630 円

※表示価格は全て税込価格です。

循環器内科のご紹介

循環器内科 部長 北川泰生

循環器内科は、高血圧、高脂血症などの生活習慣病や心不全、虚血性心疾患、睡眠時無呼吸症候群、深部静脈血栓症、不整脈などの診断と治療を行い、息切れや胸痛、動悸、むくみ、失神などの症状に対応しています。

虚血性心疾患の診断は、CT装置が2019年10月にGE社製64列CT (Revolution HD)に更新され、心機能解析に加え石灰化を除くことにより冠動脈の画像がより鮮明になり、正確な診断が可能になっています。

ペースメーカー手術は、MRI対応のものを扱っており、MRI撮影が可能です。



睡眠時無呼吸症候群は、夜間睡眠中に息が止まり、いびきや眠気をきたす病気です。交通事故をひきおこすだけでなく、高血圧や心不全、脳卒中との関連がいわれています。簡易モニターによるスクリーニングを行い、一泊入院での終夜睡眠ポリグラフ検査と、持続陽圧呼吸(CPAP)による治療を行っています。

心不全は、“心不全パンデミック”といわれるよう高齢者を主に心不全患者が年々増加しています。その対策として医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士による心不全チームを結成し、個々の患者に沿った薬物治療、栄養指導、運動療法を行っています。慢性心不全の最終段階で自分らしい生き方をしていただくため、前もってご本人やご家族と繰り返し話し合いを行い、ご本人の意思に沿った医療やケアを提供しています。

今後とも患者様に丁寧で信頼される循環器診療を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

お薬調整入院について

薬剤科 部長 岡本禎晃

当院ではお薬調整入院と薬剤師による痛み止め相談外来を行っています。

お薬調整入院とは2つのプログラムがあります。一つ目は、医療用麻薬をはじめとする痛み止めを中止あるいは減量するプログラムです。現代医療では軽減できない痛みに対して、いくつかの医療機関から複数の痛み止めを処方され、ご自分ではやめたいけど、やめることができない方に2週間程度入院していただきお薬を安全に中止・減量します。効果の無い痛み止めをやめて、痛みは良くならないけど、「ぼーっとしなくなくなった」や、



「便秘が良くなった」など良いこともあります。

二つ目は、慢性の腰痛でお困りの比較的ご高齢の方で、医療用麻薬の導入をご自宅で行うのが不安な方のための入院プログラムです。腰痛により、日常生活動作が阻害され、いろいろなことを楽しめない方がお薬によって活動的になることを目指します。

これらのプログラム終了後は、ペインクリニック外来と併診で薬剤師の継続的な外来でフォローさせていただきます。

痛み止めはすべての痛みに効果があるわけではありません。痛み止めが効かない痛みがあることを知りたいと思います。お薬を調整することで、活動的な生活ができることがありますので、お気軽にご相談ください。



お薬調整入院のパンフレット

開放型病床のご案内

「開放型病床」とは、病院の一部のベッドをかかりつけ医(開業医の先生)に開放し、病院の主治医とかかりつけ医が共同で診療・指導を行うための制度です。当院では、共同利用のできる開放型病床を5床設置しています。

【メリット】

- ・普段から診療を受けているかかりつけ医が診察することで、患者さんにとって安心感があります。
- ・かかりつけ医が患者さんの入院中の経過を把握しているため、入院から退院後も一貫した適切な診療を行うことができ、安全な医療の提供を継続して行うことができます。

【開業医の先生向け】

- ・開放型病床を利用するには予め当院への「医師の登録」が必要です。
- ・申請書の手続きは、地域連携室にご依頼ください。

【問合せ】

市立芦屋病院 地域連携室

TEL:0797-31-2156(代表)

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:15

土砂災害対策訓練を実施しました。(10月31日：職員約60名が参加)



災害対策本部の様子

訓練内容は、日中集中豪雨により土石流が発生し、停電となった場合を想定しました。発災後、災害対策本部を設置し、事業管理者が本部長となり、病院長以下の病院職員が災害対策本部である事務局に参集し状況の収集・指揮を行いました。職員は患者さんや自らの安全、周囲の安全確認を行い患者・職員の安全確保、土のうの設置作業、外来患者の対応、被災患者の受け入れ対応などを、模擬患者を設定して行いました。

これまでトリアージ訓練(患者の重症度を判別すること)や避難誘導・避難訓練、火災や停電を想定した対策訓練など実施してきましたが、土砂災害を想定した総合訓練は初めての取り組みでした。

今後も、継続して訓練を行い、市内の基幹病院の役割を果たすべく、災害に強い病院を目指していきたいと思います。



土壟設置の様子



トリアージの様子



患者対応の様子

各種行事のお知らせ

マチネーコンサート

※毎月1回日曜日に開催

日 時 ● 1月19日(日) 14時30分～
場 所 ● 外来棟4階・黄色いピアノの前
内 容 ● ~ 阪神淡路大震災から25年～
出 演 ● 小西 一美(ヴァイオリン)
金澤佳代子(ピアノ) ほか
問合せ ● 総務課



両親学級

※毎月第2土曜日開催

日 時 ● 1月11日(土) 10時～12時
場 所 ● 3階東病棟
内 容 ● お産の経過、赤ちゃんのお風呂
対 象 ● 妊娠22週以降の妊婦とパートナー
(5組10名)
問合せ ● 3階東病棟(電話は13時～16時)



公開講座

問合せ：芦屋市立公民館 0797-35-0700

時間 14時～15時30分 場所 芦屋市民センター401号室 参加費 1回 200円

日程	内 容	講 師
1月11日(土)	骨粗鬆症の話	市立芦屋病院 整形外科 名和 嶽 医師
2月8日(土)	私の人生会議について 考えてみましょう	市立芦屋病院 緩和ケア内科 大前 隆仁 医師 緩和ケア認定看護師 橋野 陽子 看護師
3月14日(土)	便秘! 永遠の悩みにお答えします	市立芦屋病院 消化器内科 竹田 晃 医師

糖尿病教室

問合せ先：
栄養管理室

※毎月第2金曜日開催

時間 13時30分～15時 場所 病棟2階 講堂I 参加費 無料

日程	内 容	講 師
1月10日(金)	糖尿病と腎合併症 糖尿病薬の違いを理解しよう	医 師 薬剤師
2月14日(金)	あなたにもできる!糖尿病とスキンケア 腎機能にあわせた運動の提案	看護師 理学療法士
3月13日(金)	糖尿病総まとめ	医師・スタッフ

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治文隆

ネズミの時間

オリンピック・イヤーの今年は子年です。ネズミといえば人間にとて害獣の筆頭にもあげられる身近な哺乳類です。ネズミが媒介する病原菌は数知れずありますが、何といってもペスト菌が著名でしょう。14世紀のヨーロッパで「黒死病」と呼ばれ、人々を恐怖に陥れたペストはペスト菌を媒介するノミがネズミやヒトに感染させて、ついには中世ヨーロッパの人口の3分の1が死亡しました。寓話「ハーメルンの笛吹き男」が報酬を求めて街のネズミを溺死させて退治したのは、ハーメルンの人々のペストへの恐怖からだったのでしょうか。しかし約束を違えて報酬を渡さなかったために、130人の子供達が笛吹き男に拉致されてしまったのです。現在もなお行方不明になった子供達の事件は謎に包まれ、いろいろな解釈がなされています。

ペスト菌にとどまらずネズミが介在する感染病原体には、サルモネラ菌、チフス菌、ストレプトバチルス菌、レプトスピラ菌、ハンタウイルス、E型肝炎ウイルス、ツツガムシリケッチャなど数多くあり、食中毒をはじめ腎症候性出血熱、ワイル病など致死率10%以上の感染症を引き起こします。ことほどネズミは嫌われ、馬鹿にされるようで、盗人を「頭の黒い鼠」と表現したり、どこにも悪人はいるとのたとえに「家に鼠、国に盗人」を使います。また英語のことわざでも「The mountains have brought forth a mouse」は文字どおり「大山鳴動して鼠一匹」で、「Burn not your house to scare away the mice(鼠駆除するために家焼くな)」は「鶏を割くに焉んぞ牛刀を用いん」に該当します。しかし、ネズミもあまり追い詰めると「窮鼠猫を噛む」例もあるのでご用心、ご用心。

いずれもネズミ科ですが、英語圏ではラット(rat)とマウス(mouse)の使い分けはほぼネズミのサイズでなされているようです。どちらも動物実験用に目的に

そって近交系で飼育されます。モルモットも動物実験に使用され、こちらはテンジクネズミ科に属しています。ディズニーランドのミッキーマウスやミニーマウスを除いては嫌われる者のネズミですが、医学研究の分野では貴重な存在です。なんといっても成長が早く、結果が出しやすい点が挙げられます。本川達雄氏の有名な「ゾウの時間・ネズミの時間」によれば、哺乳類の心臓は一生の間にだいたい15億回打つという計算になり、マウスは1分間に6~700回で1回の心周期は0.1秒以下で、寿命は2~3年です。ゾウの心周期は3秒で70年くらい生きます。マウスはライフサイクルが短いだけでなく、月経周期も4日間、妊娠期間もハツカネズミと呼ばれるくらい20日間なので、実験材料にあってこいなのです。

私が大学の研究室にいた時代には、マウス、ラット、モルモットにはずいぶんお世話になりました。異種の近交系マウスを交配させ、種々の処置を加えて胎仔への影響を観察したがありました。排卵周期が短いので、複数のメスマウスの入ったケージに一匹のオスマウスを入れてハレム状態にしてやると、翌日には必ず妊娠マウスができる実験がはかどります。マウスに静脈注射をするときは尻尾の透けて見える細い血管から針を刺していましたので、注射が上手くなつて人間が相手のときは楽でした。多いときは500匹くらいのマウスの世話をしています。でも、今となつてはネズミさんに感謝です。

(2020.1.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



●●●交通案内●●●

JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅から

- タクシー 約7分
- バス 約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番
- 徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

市立芦屋病院の理念

病院理念

あい（愛）・しあわせ（幸福）・やさしさ（優しさ）

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します

日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)



市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>